

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.147
2020.1

くしろ丹頂



賀正

日の出とともにねぐらから飛び立つ丹頂（鶴居村下雪裡 音羽橋）

CONTENTS

● 新年のごあいさつ

- 代表理事組合長 武藤 清隆 ————— 1
- 北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章 — 2
- 代表理事専務 千葉 喜好 ————— 3
- 釧路丹頂農業協同組合酪農振興会 会長 對木 隆司
- 釧路丹頂農業協同組合青年部 部長 松下 雅幸
- 釧路丹頂農業協同組合女性部 部長 武藤 和江 — 4

● 組合員組織 ————— 5・6

● 年始日程表 ————— 7

参 勤 事	常 勤 事	員 外 監	代 表 監	理 常 務 理 事	代 表 理 事 専 務	代 表 理 事 組 合 長	会 長 理 事
坂 石	本 動	下 藤	齊 成	大 五	白 十	千 木	武 藤
他 職 員 一 同	克 信 和 純 常 範 博 政 良 喜 清 義 一	則 総 夫 弘 哉 行 譽 文 敏 雄 好 隆 一	坂 石 寺 齊 成 藤 對 大 五 白 十 千 木 武 藤	坂 石 寺 齊 成 藤 對 大 五 白 十 千 木 武 藤	坂 石 寺 齊 成 藤 對 大 五 白 十 千 木 武 藤	坂 石 寺 齊 成 藤 對 大 五 白 十 千 木 武 藤	坂 石 寺 齊 成 藤 對 大 五 白 十 千 木 武 藤

謹んで新春の
お慶びを申し上げます



年頭にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事組合長 武藤 清隆



組合員並びに役職員の皆様、新年明けましておめでとう御座います。希望に満ちた令和2年の新春を、御家族お揃いで迎えられる事を、心をこらしてお慶び申し上げます。

昨年、令和という新元号となり、新天皇の御即位を祝い祝意にあふれた一年でありました。しかし一方では、相次ぐ強力な台風の影響によって全国各地で甚大な被害が多発した一年でもありました。連日各地から届く被害の情報に心を痛めた組合員の皆様も多かった事と思います。改めまして、被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を願うものです。

また、当農協では、4月には田井博行前理事、9月には松下勉前理事が急逝され大きな衝撃を受けた一年でもありました。御二人とも農協運営には多大な貢献を頂いただけでなく、まだまだ活躍が

期待されていただけに、残念至極ではありますが、今となりましたは、ただただ御二人の安らかなる御冥福を祈るばかりです。

令和という年号には、平和で穏やかにという願いが込められているとの事でしたが、元年につきましては、激動の一年となりました。心配された天候こそまずまずの推移の中で、一番草・二番草・デントコーンの生育が順調で、収量・質とも確保する事が出来ました。令和2年度は、生乳生産に期待を持つ一方、一昨年の暮れにはT P P I Iが、2月には日欧E P Aが、更には日米2国間によるT A Gが1月1日より協定が発効される事となり、その動向によっては今後酪農業界に甚大な影響が想定され、将来不安が増幅される事となりました。政府はT P P P等関連政策大綱の改定により影響が最小限にとどまり、生産者の所得と生産量を確保するとして予算付けをす

ることとしています。しかし、これまで農畜産物の輸入に関する関税の下げあるいは撤廃時に各種対策が講じられて来ましたが、なかなか現場のニーズとの齟齬により、効果が疑問視される状況が続いて来ました。その事により農業者は農政に対する不信感が増幅し、業界を去る人が後を絶たない現状にあります。

政府は今、食料自給率わずか37%という厳しい現実をどの様に捉え、国民に対して食料安全保障をどう担保していくのか疑問は尽きません。そんな想いの中、私達も国民の食料を確保する産業に身を置く者として、この流れを変える必要があるのではないかと想うところです。具体的には今、日本が置かれた現実を消費者と共有し、関係機関に働き掛ける事が必要でしょう。それにはまず、自らの経営の基盤強化にしっかりと取り組む必要があります。今、当農協では、各地・各農場でリスクを抱えながらも色々な取り組みがなされています。この事は自らの経営を守る事は勿論ですが、併せて地域を守るという高い意識の現れであり、まさに農協の理念に合致するもので高く評価されるものです。

そこで当農協では、第29回J A北海道大会で決議されましたJ Aグループ北海道の目指す姿として、所得目標kg当たり30円以上を掲げ、担い手が誇りとプライドを持つて営農継続が出来る生産環境の実現に向けしっかりと取り組んで参ります。自ら出来る取り組みをしっかりと行い、国への政策提案をしながら、変動が激しい副産物価格に左右されずに経営が成り立つ基盤の強化を計って参ります。それぞれが将来目標をしっかりと掲げ、それに向け愚直に取り組んで頂きたいと思えます。それを支える仕組み、支援制度の構築に役員一同真剣に取り組んで参ります。特に令和2年は昨年樹立しました中期計画の確実な実践に取り組み、機構改革や赤字部門の改善に向け、結果を出していきたいと考えています。その為には尚一層の組合員皆様の御理解、御努力が欠かせません。どうぞ宜しくお願い致します。

結びに、今年一年が皆様にとりまして、穏やかで更なる飛躍の年になります様に御祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 飛田 稔章



ます。

国際貿易交渉については、昨年

2月1日に日EU・EPAが発効

となり、日米貿易協定は昨年10月

に署名がなされ、国会審議を経て

12月4日に承認案が可決されまし

た。日米貿易協定の影響試算では、

1、100億円の生産減少額のうち

3〜4割が北海道への影響とみ

られており、JAグループ北海道

として北海道農業への影響を最小

限に食い止める対策や、生産者の

不安を払拭することを昨年より国

等に対して要請を行っておりま

す。今後も動向を注視し、北海道

農業が犠牲とならないよう毅然と

した対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、

昨年11月12日に第29回JA北海道

大会決議事項の実践事例や現状の

課題を、JAグループ全体で共有

すること、内外に実践状況を発信

すること目的として、JA北海道

大会実践フォーラムを開催したと
ころです。

引き続き、組合員・JA・連合

会・中央会が一体となり、大会決

議事項の実践に取り組み、基本目

標の達成につなげてまいります。

結びになりますが、今年の干支

は庚子(かのえね)です。子には、

「ふえる・しげる」の意味があり、

種子の中に新しい生命がぎざし始

める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、

農業にとって輝かしい未来が芽生

く年となること、併せて北海道農

業並びに組合員、役職員の皆様の

ご健勝とご多幸を心よりご祈念申

し上げ、新年にあたってのご挨拶

といたします。

組合員並びにJA役職員の皆様
には、輝かしい令和2年の新年を
迎えられたものと心より、お慶び
申し上げます。

皆様におかれましては、日々の
営農と併せ、地域農業の振興や地
域社会の発展に向け、日頃より多
大なご尽力をされていることに対
して、改めて敬意と感謝を申し上
げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先に道
内各地において強風に見舞われ、
広範囲にわたり農業被害が発生
し、一部蒔き直しが必要になった
地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありました
が、天候は順調に推移したことで
収穫も進みました。お米の作況指

数が104の「やや良」、小麦、てん
菜は平年作以上となる結果とな
り、生乳は良質な飼料作物確保に
よる安定的な生産が見込まれ、作
目によって違いはありますが概ね
良い出来秋を迎えることができ
と感じております。

しかしながら、全国的には8月
末に発生した九州北部豪雨や、9
月、10月と東日本を中心に大きな
被害をもたらした台風15号、19号
など、大規模な災害が発生した年
となりました。

北海道においても一昨年、胆振
東部地震により多くの支援を頂い
た経過にあり、JAグループ北海
道として全国連と協力し積極的に
支援をして参りたいと考えており



新年にあたり

鈞路丹頂農業協同組合

代表理事専務 千葉 喜好



組合員、役職員の皆様には輝かしい令和の新春を迎えられたものと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、収穫作業に大きな影響を与える天候は無かったものの、一度に降る雨量が多く異常とも思える日が何度かありました。又、7月下旬から8月には高温となり、乳牛にとって繁殖・乳房炎などの影響があったものと思われま。やはり気候の大きな変化が牧草の成長にも悪影響があるのか分析結果は期待する程ではないようです。都府県では台風・豪雨等による甚大な被害が発生し、その復旧が遅れ今年の営農にも影響するものと考えられます。台風被害では、ホクレン丸等輸送にも大きな影響があり、将来の物流対策にも課題を残すところです。異常気象に対して受け入れたくない気持ちがありますが、近年の気候を考えると残念な事ですがやはり異常であると一言えます。環境活動家の少女が「大

人達は異常な気候変動に対して無関心を装い続けている。もしくは少しの努力しかしようとしな。時代が急を要するにも関わらず。」この言葉を聞いた時、十六歳の少女がこんな失望感を抱いている事で自分は今、何をすべきかを考えさせられました。温暖化対策において日本の取り組みに強い批判も

あります。資源の乏しい日本です。から化石燃料を使います。原発にも厳しい国民の目があります。日本は効率良く地球資源を使うことで、環境問題において世界をリードできるよう期待するところです。令和2年、農協では年々厳しくなる内外の状況から各事業での収支改善が緊急の課題であり、昨年からの準備を進めております生活店舗から収支改善の取り組みを始める計画を立てております。特に女性部・地域住民の皆様に出る限り現状と変わらない品揃えやサービスを提供するつもりですが、収

支改善のためには多少今迄とは違うと感じる事も考えられます。地域の生活店舗を守ることも協力頂くことをお願いするところでもあります。

現在、各農家を取り巻くサポート体制において労働力不足が一番の問題であり、又、サポート施設の不足・農協施設の老朽化の中で、急を要する対策が数多くあり、その為の財源確保が必要です。内部の収支改善にしっかり取り組むべきと考えます。これらの事は、組合員に痛みが伴うとの考え方ではなく、将来の痛みを回避する為の取り組みと考えて頂き、協力をお願いするところであります。

近年、乳価・個体価格において高値安定の中、個々の営農にも良い結果として現れておりました。しかしEUとのEPA・TPP11・米国のFTAと日本の農業にあっては、今後脅威となる交渉が成立し心配なところ。自分の中では、日本の農業、酪農の規模拡大が進みましたが、世界と戦える内容とは思えません。日本農業が生き残るためには、強い組織力・農業者とそれらを取り巻く組織がしっかり協力体制を構築する事こそが日本農業を守る道である

と考えております。クラスター事業により大型機械・高能力な作業機等を十分に導入されたと思いますが生乳生産には結果がまだ出ておりません。施設の老朽化により効率面等において問題が多く、今後低コストで中小の経営者が施設投資へ意欲的に取り組める対策、農協支援も考えなければなりません。

後継者対策については、新規での希望者の受け入れに対しては農協でも準備をしております。個々の農家において、後継者が居てもコミュニケーション・親子関係など問題もあるようですが、後継者の考えを聞く、そして協力できる事は積極的に協力し育てる事も私達世代の仕事であると感じております。農業には都会で得られない生活環境がありますが、今自分達がその事を忘れてかけて酪農の魅力を次の世代に伝えられなかった責任は重いと感じております。初心に返って酪農の魅力を発信できるように努力する事も必要です。新年にあたり、新専務としての考えを申し上げ、今年も家族揃ってひとつの目標に向かって健康で頑張っ頂けることを期待しております。



新年のご挨拶



釧路丹頂農業協同組合酪農振興会
会長 對木 隆司

新年明けましておめでとうございます。

酪農振興会の皆様には、平成という時代を無事に終え、令和という希望に満ちた新年を迎えられた事と思います。また旧年中は、会員の皆様をはじめ関係機関の皆様方のご理解とご協力を頂き本当にありがとうございました。

この度、私が折笠氏の後任として会長を引き継ぐこととなりました。微力ではありますが全力を尽くして行きたいと思っておりますので、御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年一年を振り返ると、大きな災害や天候不順はなかったものの、高値が続いていた個体価格が下がり気味となり、経営にも影響を与え始めるのではなにかと思われまます。よって安定した経営の為には、より一層生乳生産に力を入れていかなければならぬと感じています。

さて、昨年の行事としては10月にポーリング大会、11月には十勝にて視察研修を行いました。ポーリング大会では、会員同士情報交換をしながら楽しい時間を共有し、十勝では牛床への自動敷料散布システムや、日本初導入のロータリー型搾乳ロボットを視察して今後の酪農作業の省力化と規模拡大を考える上での参考となりました。

最後に、今年も2月に生乳生産や経営安定の一助となるよう「酪農祭」を開催し、講演と懇親会を予定しています。本年も会員相互の良い関係が更に広がり、強い結びつきになるような事業を進めてまいりますのでどうぞよろしくお祈りします。今年一年皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



釧路丹頂農業協同組合青年部
部長 松下 雅幸

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

旧年におかれましては、組合員の皆様、関係機関の皆様には、特段のご支援、ご協力を賜りましたことを心よりお礼申し上げます。

昨年の青年部活動としましては、例年行っている乳製品消費拡大運動ではコープさっぽろ星が浦店での実施や、どんぱく及び各支部の地元イベント等で直接消費者の方々とお話をさせて頂きました。我々生産者の思いを伝えることのできる貴重な機会でありまますので、今後も継続していききたいと思ひます。

依然として、酪農情勢は、先行き不透明で厳しい状況ではありますが、我々青年部は国民の命を守る「食」に携わる者として、その重要性や地域社会を担っていくという強い信念を持ち、活気あふれる青年部活動を行って参りたいと思ひます。最後になりますが、本年も組合員そして関係機関の皆様方からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年にあたり



釧路丹頂農業協同組合女性部
部長 武藤 和江

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられた事と思います。旧年中は、女性部活動に対しまして、部員の皆様をはじめ諸関係機関のご理解とご協力を賜り誠に有り難うございました。

昨年6月に行なった女性部交流会は、白糠を会場に、ハーバリウム製作に取り組み、完成品は家の光大会会場にて展示できる出来映えになりました。その後、山内水産「やまかん」にて、部員同士の親睦を深め、楽しい一時を過ごしました。又、乳製品消費拡大運動も例年に引き続き行ないました。消費者の皆様との触れ合いの中で、色々な意見や感想をいただき、活動の継続の重要性を再認識するとともに、もっと多くの消費者の皆様喜んで頂けますよう、より安全安心で高品質な生乳の生産に力を入れて参りたいと思ひます。

本年は、新たなJ A女性組織3か年計画「J A女性地域で輝け50万パワー☆」の実践を通じて、食と農そして、地域の活性化に、会員皆様と共に協力し合い、J A運営に参加、参画を進めて参りますので、女性部員の皆様の積極的な活動に期待いたします。

最後になりますが、本年も関係機関の皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



JAくしろ丹頂組合員組織



あけましておめでとうございます。

釧路丹頂農協女性部 部長 武藤和江	釧路丹頂農協青年部 部長 松下雅幸
釧路丹頂農協酪農振興会 会長 對木隆司	釧路丹頂和牛改良組合 組合長 菊地和広
釧路丹頂農協馬事振興会 会長 江崎勝三	釧路丹頂農協乳牛改良同志会 会長 林稔幸
外国人研修生受入協議会 会長 伊藤順一	幌呂大型機械利用組合 組合長 大碓晋二
鶴居宮農組織代表者協議会 会長 合田徳三	鶴居村乳牛検定組合 組合長 松井俊治



JAくしろ丹頂組合員組織



本年もよろしくお願ひ申し上げます。

鶴居村酪農ヘルパー利用組合

組合長 菱 沼 和 也

白糠町乳牛検定組合

組合長 影 山 純

白糠町酪農ヘルパー利用組合

組合長 北 村 康 浩

音別町酪農ヘルパー利用組合

組合長 菅 原 善 伯

白糠町野菜生産組合

組合長 細 谷 照 雄

白糠町農民組合

執行委員長 中 河 敏 史

白糠町農村青少年クラブ

会 長 細 谷 亮 太



JAくしろ丹頂 年始日程表

年月日	部門	各地区の事務所			販 売		家畜改良	生 乳	哺育育成センター	幌 呂 育成牧場
		管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白糠・音別	鶴居・幌呂 白糠・音別			
令和2年 1月1日(水)								通常業務		
1月2日(木)							業務始め*			
1月3日(金)										
1月4日(土)			ATMのみ稼働							
1月5日(日)										
1月6日(月)		業務始め		業務始め		業務始め				

年月日	部門	購買・鶴居			購買・幌呂			購買・白糠		購買・音別		
		生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
令和2年 1月1日(水)												
1月2日(木)								業務始め*				
1月3日(金)			業務始め			業務始め*						
1月4日(土)		業務始め 午後5時まで						午後6時まで		業務始め 午後5時まで	業務始め	
1月5日(日)												
1月6日(月)				業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

*午前中のみ営業となります。

営業日	休業日	1/6(月)は、全業務午後4時までの営業となります。ATMの稼働は午後3時30分迄の稼働となります。
-----	-----	--

◆人工授精業務、年始の対応について

・1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分(厳守)対応となりますので、よろしくお願い致します。

・万一、交通事故が発生した時は、

JA 共済事故受付センター

事故等の場合には

ジコは クミアイ

0120-258-931

JA 共済サポートセンター

レッカー移動や故障時の
応急対応が必要な場合には

レッカーロードサービスは クミアイ

0120-063-931

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

電話料金は無料です。 公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

□新年明けましておめでとうございます。

農業を取り巻く環境は、世界及び日本の農業情勢の流れからも大きな変革期を迎え、持続可能な農業の実現が求められてきております。JA北海道大会における将来ビジョン(大会メインテーマ)となっている『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」』の実現に向けた取り組みがJA北海道グループ全体で着々と進んでおります。重点取組事項が示されるなかで、当JAにおいても地域農業振興計画・中期経営計画を樹立し、各部門において具体的な取り組みが実践されております。今後も組合員及び地域の皆様方とともに取り組んで参りますのでよろしくお願い致します。本年が皆様方にとりまして良い年となりますよう心からご祈念申し上げます。

編集後記
EDITOR'S NOTE